

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	生活福祉課長	鷲尾 礼弁	
健福-08	実施事業	民生委員児童委員活動推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	生活福祉課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	民生委員等
意図	市の地域福祉の一翼を担う民生委員児童委員の活動を支援するため。
効果	地域福祉の増進が図られる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱された民生委員児童委員の活動を支援した。 地域の福祉相談に応じ、行政機関と協力して地域のための活動をする民生委員児童委員の活動支援として協議会に補助金を交付した。
--

3 事業費等基礎データ

データ	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備考
	人口等の	人口	177,243人	176,869人	人口	
世帯数		80,676世帯	80,928世帯	世帯数	81,150世帯	
事業の対象者数		222人	224人	事業の対象者数	224人	
運営資源状況	決算値(千円)	38,622	38,525	当初予算(千円)	38,943	
	国県支出金	14,194	14,311	国県支出金	14,453	
	地方債	0	0	地方債	0	
	その他	0	0	その他	0	
	一般財源	24,428	22,058	一般財源	24,490	
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0	
事業経費運営	人件費(千円)	7,685	7,757	人件費(千円)	7,873	
	総事業費(千円)	46,307	46,282	総事業費(千円)	46,816	
	市民1人当りの経費(円)	261	262	市民1人当りの経費(円)	265	
	対象者1人当りの経費(円)	208,590	206,616	対象者1人当りの経費(円)	209,000	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする			<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する			<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	⇒				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	報酬については、鎌倉市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する規則に定められた金額の支給を行っているため、現状維持が望ましい。 補助金については、県民協や県社協への負担金の支出や各地区民生委員児童委員の活動に必要な限度額であり、見直しを行うことは、地域福祉の向上等、公益性の非常に高い民生委員児童委員の活動が制限されることとなるため、現状維持が望ましい。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱された民生委員児童委員の活動は、高齢者及び児童の見守り等、多岐にわたっており、本市の福祉行政にとって欠くことのできない地域福祉の担い手としての活動が円滑に行われるよう、今後も支援を継続していく。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	平成28年度の一斉改選に伴い、民生委員児童委員現員数が定数に達せず、欠員が生じた。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	<p>当該地区民生委員児童委員協議会の地区会長等へ推薦依頼を行い、一斉改選後に1名の委員を新たに委嘱し、他1名の委員を平成29年度に委嘱予定である。</p>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	民生委員児童委員現員数が定数に達せず、欠員が生じている状態である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	上段:民生委員児童委員の現員数と定数(現員数/定数) 下段:充足率								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	220人/224人	512人/517人	320人/324人	399人/406人	337人/339人	49人/52人	64人/80人	79人/90人	
	98.2%	99.0%	98.7%	98.2%	99.4%	94.2%	80.0%	87.7%	

比較事項	一人あたりの個別援助票作成数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	<p>近隣市でも定員に達していないところが多いというのが現状である。引き続き各地区民児協を通じて自治町内会長から候補者の推薦の依頼を継続する。</p>
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	民生委員児童委員の現員数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	定員は224人		
地域に密着した民生委員児童委員活動を円滑に行うため	目標値	224	224	224	224	224	224			
	実績値	223	222	220						
	達成率	99.6%	99.1%	98.2%						

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<p>一斉改選に伴い、民生員児童委員の現員数が減少した。引き続き、各地区民児協を通じて自治町内会長から候補者の推薦の依頼を継続する。民生委員児童委員の見守り対象者は年々増加傾向にある。平成28年度に一人世帯の高齢者を対象とした実態調査を行ったため、さらに対象者は増加することが見込まれる。</p>
-----------------------	--